

# 堺市下水道ビジョン・概要版～堺市下水道がめざす将来像の実現に向けて～

堺市上下水道局

## 第1章 下水道ビジョンの策定趣旨

- ◆汚水・雨水の排除処理という基本的役割を果たしつつ、社会情勢の変化により必要とされる新たな役割を担い、「堺の将来像」を実現する。
- ◆厳しい財政状況の中、多様化するニーズに対応するため、下水道事業の基本理念と使命に基づき、戦略的な事業推進と経営を行う。

## 第3章 下水道をとりまく社会情勢の変化

- ◆現在・将来の市民生活へのリスクにかかる社会潮流
  - 「安全・安心な社会への希求」
  - ・ゲリラ豪雨による浸水被害の増大
  - ・大規模地震発生の懸念が拡大
  - 「地球規模の環境問題の切迫化」
  - ・低炭素型の都市構造への変革<クールシティ・堺の実現>
- ◆都市の成長に関わる社会潮流
  - 「少子化の進行と急激な高齢化、人口減少社会の到来」
  - ・持続可能な都市経営基盤の確立
  - 「経済の成熟化とグローバル経済への変動」
  - ・新たな資源や市場、技術を活用する成長戦略
- ◆まちづくりを進める仕組みに関わる社会潮流
  - 「市民ニーズや価値観の多様・複雑化」
  - ・まちづくりを進める新しい基盤の構築
  - 「公共のあり方の変化」
  - ・行政運営の効率化
  - ・様々な主体が協働したまちづくり

## 第2章 堺市下水道事業の概要

- ◆昭和27年8月 旧下水道法による事業認可取得
- ◆平成9年4月 地方公営企業法の財務規定等を適用
- ◆平成16年4月 水道事業との組織統合に伴い、地方公営企業法の全部適用
- ◆平成21年度末 事業認可面積10,791ha、整備済み面積10,046ha  
下水道処理人口普及率95.5%

## 第4章 堺市下水道の基本理念と使命

### 基本理念

水の循環をとおして、市民の暮らしを守り、  
環境の保全と地域の発展に貢献する。

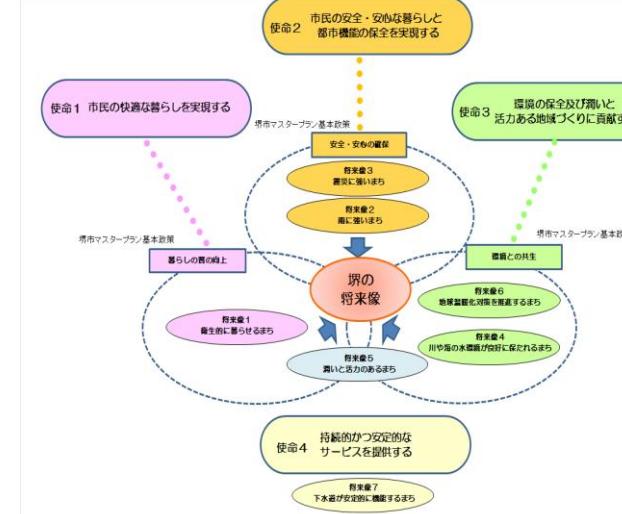
### 使命

- 使命1：市民の快適な暮らしを実現する。
- 使命2：市民の安全・安心な暮らしと都市機能の保全を実現する。
- 使命3：環境の保全及び潤いと活力ある地域づくりに貢献する。
- 使命4：持続的かつ安定的なサービスを提供する。

## 第5章 下水道ビジョンの基本的な考え方

- ・堺市マスタープランの「暮らしの質の向上」「安全・安心の確保」「環境との共生」の分野で将来像実現に向けた取り組みを実施
- ・概ね20から30年先を見据えた将来像を描き、確実にかつ効率的に実現していくための戦略を構築

### 下水道がめざす7つの将来像



### 下水道ビジョンにおける3つの戦略

#### 事業の重点化・効率化戦略

汚水対策、浸水対策、地震対策など、衛生的で安全・安心な暮らしを守る事業は、事業効果を見極め、事業を重点化して計画期間内に確実に実施

#### 事業の成長戦略（進取の気風・匠のまちを活かした事業展開）

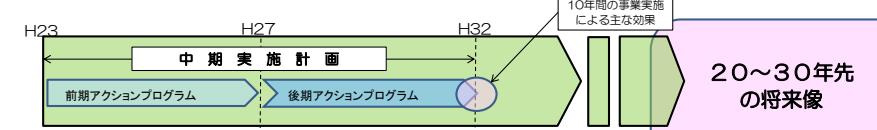
温室効果ガス排出量の削減、雨水や再生水の利用など、地球環境保全や活力ある地域づくりに貢献する事業は、関係者との連携・協働や新技術の導入など、堺しさを活かした新たな事業展開を拓く

#### マネジメントの高度化戦略

持続的かつ安定的なサービス提供は、アセットマネジメント手法の導入や放流先・利用用途に応じた水質管理など、マネジメントの高度化を実現

## 第6章 中期実施計画（H23～H32）

中期実施計画は、堺市下水道の7つの将来像の実現に向けて計画的に事業を行うため、使命・将来像ごとに課題を整理し、事業の重点化・効率化を図ったうえで、10年間で実施する内容及び効果を取りまとめ



#### 将来像1 衛生的に暮らせるまちの実現（汚水対策）

【現状課題】市街化調整区域内未整備区域が残存（下水道処理人口普及率95.5%）

【事業実施内容と主な効果】

汚水整備事業の推進

→ 全市域で汚水処理サービスを提供

### 20～30年先の将来像

#### 衛生的に暮らせるまち

#### 将来像2 雨に強いまちの実現（雨水対策）

【現状課題】集中豪雨による浸水被害（時間雨量約50mmに対する整備率約51%）

【事業実施内容と主な効果】

・雨水整備事業の推進

・雨水貯留浸透の推進

・浸水被害情報の充実

### 雨に強いまち

#### 将来像3 震災に強いまちの実現（下水道地震対策）

【現状課題】施設が多く未耐震（耐震化率：管きょ約16% 处理場等約41%）

【事業実施内容と主な効果】

・下水道施設の耐震対策

・危機管理体制の強化

### 震災に強いまち

#### 将来像4 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現

【現状課題】合流式下水道では、施設能力を超える降雨の際に未処理下水の一部が河川等に流出

【合流式下水道改善率約2%】

市内河川は水質改善されているものの市民の満足度は低い

大阪湾の水質は横ばいまたは改善傾向であるが貧酸素水塊発生

【高度処理実施率25%】

【事業実施内容と主な効果】

・合流式下水道の改善

・処理の高度化と安定化

・雨水浸透の推進

### 川や海の水環境が良好に保たれるまち

#### 将来像5 潤いと活力のあるまちの実現

【現状課題】雨水・再生水の更なる利活用（再生水利用1地区（堺浜地区））

【事業実施内容と主な効果】

・堺浜再生水送水事業の継続実施

・新たな再生水送水の事業モデル構築

・雨水貯留浸透の推進

### 潤いと活力のあるまち

#### 将来像6 地球温暖化対策を推進するまちの実現

【現状課題】市の事務・事業実施により排出する温室効果ガスの約1割が下水道事業

【事業実施内容と主な効果】

・創エネ事業の推進

・省エネ・省CO<sub>2</sub>機器の導入

### 地球温暖化対策を推進するまち

#### 将来像7 下水道が安定的に機能するまちの実現

【現状課題】処理場等の設備標準耐用年数超過率（機械：約60% 電気：約64%）

特定事業所として、法定水質基準は達成

【水系リスクが顕在化、再生水送水事業を実施】

【事業実施内容と主な効果】

・アセットマネジメントの導入

・水質マネジメントの充実・強化

・持続的かつ安定的なサービスの提供

健全な水循環の実現

### 下水道が安定的に機能するまち

## 第7章 中期経営計画（H23～H32）

#### 財務状況の分析 依然厳しい財政状況

【不良債務4.4億円・累積欠損金117.4億円】（公共下水道事業ベース）

【経営課題】1)不良債務の解消 2)累積欠損金の解消

#### 経営基盤強化への取組み

・企業債残高の抑制等を含めた財務体質の改善により

1)平成24年度末の不良債務解消をめざす

2)不良債務解消後、早期に累積欠損金の解消をめざす

## 第8章 ビジョンのフォローアップ

◆5年後にビジョンの見直しを位置づけ、後期5か年の短期実施計画を策定する。

◆PDCAサイクルにより、進捗、効果、効率性の評価・検証し、目標の達成を図る。